

野村萬斎

小傘



撮影:政川慎治

第六回 塩尻狂言会

（番組）

小傘 佐渡狐 小舞海人 解説
野村萬斎 中村修一 内藤連
野村萬斎

野村萬斎

佐渡狐



2026.5.4

月・祝

開場 13:15 / 開演 14:00

会場:レザンホール大ホール

入場料:全席指定(税込)4,000円(未就学児入場不可) 主催:(一財)塩尻市文化振興事業団/NBS長野放送 後援:塩尻市/塩尻市教育委員会

お問い合わせ

Raisin Hall

〒399-0738 塩尻市大門七番町4-8
TEL.0263-53-5503(9:00~17:00 休館日を除く)

プレイガイド:レザンホール TEL.0263-53-5503
WEB:<https://p-ticket.jp/raisin>

一般発売日:2/11(水・祝) 10:00~

※発売初日の窓口販売はありません。
電話・WEB予約をご利用ください。



第六回

野村万作 塩尻狂言会

番組

解説 内藤 連

小舞 海人

中村 修一

石田 淡朗
内藤 聰史
福田 成生

狂言 佐渡狐 奏者 野村 万作

越後の百姓 佐渡の百姓 高野 和憲

後見 福田 成生

休憩

十五分

何某 内藤 連

新発意 月崎 晴夫

参詣人 中村 修一

尼 石田 淡朗
石田 幸雄

後見 高野 和憲

狂言 小傘

僧

野村 万作

野村 萬斎

小傘(こがらかさ)

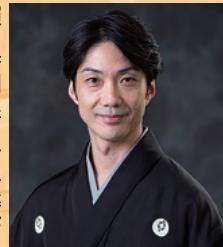
田舎者が村に草堂を建立したのだが、堂守がないので街道に出て探ししていると、僧と新発意(しんぱち)(出家して間もない修行中の僧)がやつて来たのですぐに連れて帰る。しかしこの二人、実は博奕で食いつめた主従であった。法事が始まると、僧は賭場で聞き覚えた傘の小歌をお経のようにな唱えて参詣人たちをごまかし、皆が法悦に浸っている内に新発意に施物を盗ませようとするのだが、なかなか上手くいかない。そつとしているうちに念仏は益々高揚していく。中世ののどかな様子がうかがい知れる曲です。にわか坊主が傘の小歌を、お経のよう唱えるところが二つの聞きどころです。首尾良く事は進むのでしょうか?

佐渡狐(さどぎつね) 年貢を納めに都へ上る途中で道連れになつた佐渡と越後のお百姓。佐渡に狐はおらず、狐を知らない佐渡のお百姓は、奏者(取次の役人)にワロトを使い味方についてもらう。しかし奏者の「佐渡に狐はない」という判定に納得のいかない越後のお百姓に、狐の形格好を問いただされ。。。越後のお百姓の追及に必死で答える、佐渡のお百姓と奏者の連携プレーが見どころです。世相を風刺しつつ、中世の人々のたくましく生きる姿が笑いの中に描かれた狂言です。

あらすじ

野村万作(のむら まんざく)

1931年生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)、文化功労者、日本芸術院会員。文化勲章受章。祖父・故初世野村萬斎及び父・故六世野村万蔵に師事。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。軽妙洒脱かつ緻密な表現のなかに深い情感を湛える、品格ある芸は、狂言の頂点を感じさせる。国内外で狂言普及に貢献。ハワイ大、ウシントン大では客員教授を務める。狂言の技術の粋が尽くされる秘曲「釣狐」に長年取り組み、その演技で芸術祭大賞を受賞したほか、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、松尾能賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、ベストアーチー賞、朝日賞、旭日小綬章、中日文化賞、ジャパン・ソサエティ賞等多数の受賞歴を持つ。「月に憑かれたピエロ」「子午線の祀り」「秋江」「法螺侍」「敦」「山月記」「名人伝」等、狂言師として新たな試みにもしばしば取り組み、現在に至る狂言隆盛の礎を築く。



野村万作(のむら まんざく)

1966年生。祖父・故六

世野村万蔵及び父・野村万

作に師事。重要無形文化

財総合指定保持者。東京

藝術大学音楽学部卒業。

「狂言ござる乃座」主宰。

国内外で多数の狂言能公

演に参加、普及に貢献する方、現代劇や映画・テレビ

ドラマの主演、舞台「敦」「山月記」「名人伝」「子午線

の祀り」「能狂言」「鬼滅の刃」「日出處の天子」「ハム

レット」など古典の技法を駆使した作品の演出で幅

広く活躍。現在の日本の文化芸術を牽引するトップ

ランナーのひとり。現代に生きる狂言師として、あらゆる活動を通じ狂言の在り方を問っている。芸術祭

新人賞、優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日

舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞、毎日芸術賞、千葉是也

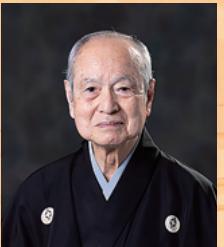
賞、読売演劇大賞、最優秀作品賞、観世寿夫記念法政

大学能樂賞、松尾芸能賞、坪内逍遙大賞を受賞

した。石川県立音楽堂アーティスティッククリエイ

ティ・ディレクター。東京藝術大学、白百合女子大学芸術学

部客員教授。(公社)全国公立文化施設協会会長。



野村万作(のむら まんざく)

1931年生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)、文化功労者、日本芸術院会員。文化勲章受章。祖父・故初世野村萬斎及び父・故六世野村万蔵に師事。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。軽妙洒脱かつ緻密な表現のなかに深い情感を湛える、品格ある芸は、狂言の頂点を感じさせる。国内外で狂言普及に貢献。ハワイ大、ウシントン大では客員教授を務める。狂言の技術の粋が尽くされる秘曲「釣狐」に長年取り組み、その演技で芸術祭大賞を受賞したほか、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、松尾能賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、ベストアーチー賞、朝日賞、旭日小綬章、中日文化賞、ジャパン・ソサエティ賞等多数の受賞歴を持つ。「月に憑かれたピエロ」「子午線の祀り」「秋江」「法螺侍」「敦」「山月記」「名人伝」等、狂言師として新たな試みにもしばしば取り組み、現在に至る狂言隆盛の礎を築く。

野村万作(のむら まんざく)

1931年生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)、文化功労者、日本芸術院会員。文化勲章受章。祖父・故初世野村萬斎及び父・故六世野村万蔵に師事。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。軽妙洒脱かつ緻密な表現のなかに深い情感を湛える、品格ある芸は、狂言の頂点を感じさせる。国内外で狂言普及に貢献。ハワイ大、ウシントン大では客員教授を務める。狂言の技術の粋が尽くされる秘曲「釣狐」に長年取り組み、その演技で芸術祭大賞を受賞したほか、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、松尾能賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、ベストアーチー賞、朝日賞、旭日小綬章、中日文化賞、ジャパン・ソサエティ賞等多数の受賞歴を持つ。「月に憑かれたピエロ」「子午線の祀り」「秋江」「法螺侍」「敦」「山月記」「名人伝」等、狂言師として新たな試みにもしばしば取り組み、現在に至る狂言隆盛の礎を築く。